

## 令和3年度第4回部活動部会 会議要旨

と き 令和3年12月3日（金）

ところ 北方南小学校 校長室

※会議の主な内容は以下のとおり

司会者：定刻になったので、令和3年度第4回部活動部会を開始する旨を告げる。

（18：30 開始）

事務局：北方学園クラブ指導者謝金について意見を求める。

（主な協議内容）

- 各団体の指導者やスタッフの人数を調べ、確保数を把握しなければ、クラブ全体でどのくらいの謝金を支払わなければならないか分からないのではないかと。
- 現在、各団体で指導者やスタッフに支払っているお金はそれぞれであるので、指導者謝金を一律にするのは無理があると思う。基準を設けて、各団体に交付した方がよいのではないかと。
- 指導者謝金のお金を捻出するために、保護者からお金を徴収するのはおかしいのではないかと。国や県、町などから補助金は交付されないのか。それが無理であれば、賛助企業などから寄付を募ってはどうか。
- 各団体では保護者の負担が多くならないように工夫している。
- 現在町から支払われている社会人コーチへの謝金の額は正直多いのではないかと。
- 令和5年度から小学5・6年生から部活動に参加することができるのであれば、ジュニアクラブに小学生が加入してもよいと思う。小学生は中体連には参加できないが、練習試合には参加できると思う。方針が決まらなければ、お金の流し方も決まらない。  
事：町から各団体へ補助金として出すとしても、活動の仕方を考えてほしい。
- 指導者の人数は各団体によって違うので、スポーツ少年団への補助金の交付の仕方と同様に、ジュニアクラブと部活動も一人当たりの基準額×加入人数を交付したほうがよい。  
事：それならば各団体の保護者からの徴収金も各団体で検討してもらおうことになるのか。
- 教員が土日にも部活動指導をすることができなくなるのであれば、指導者を確保するためには指導者謝金の額は統一したほうがよい。発想を変えたほうがよい。

- 町スポーツ協会への補助金を見直しすべきである。また、社会体育団体の施設使用料の見直しをしたほうがよい。社会体育団体としての登録費を徴収するとか。
- 社会体育団体としての登録費を徴収することとすると、登録費を支払っているのだから、体育館等の施設を優先的に使わせろという話になるのではないか。
- 現在、社会体育団体が既得権で優先的に各施設を利用している。陸上のジュニアクラブは社会体育団体が使っていない曜日に活動することになったが、本来は後から活動することになった団体もみな希望を出して活動場所を調整すべきではないか。町内の子どもたちが利用する場合は優先ではないのか。町外の子どもたちが多く含まれているクラブチームが優先的に活動できているのはおかしい。活動場所を調整するため、代表者会を開催したほうがよい。
- 3月初めに社会体育団体調整会議が開催されるので、そこで調整されてはどうか。令和5年4月の学園開校時から、南学園でも部活動やジュニアクラブが活動することとなり、教育的活動が優先されるため、社会体育団体が今までどおり使えなくなる旨早めに周知しておいた方がよい。社会体育団体の中には同じ種目であってもバラバラに活動されているところもあり、一緒に活動する等各団体で検討していただいた方がよい。

事：スポーツ少年団登録費は県へ支払っているのか。

⇒支払っている。

- 指導者資格登録費は1万円もかかる。その資格がなければ指導ができず、スポーツ少年団としての活動ができない。今後このお金をどうするかも課題である。
- 団体ごとに上部団体へ上納するお金も違っているし、スタートコーチ代が1万円も必要になるなど、各種目で部活動とジュニアクラブ、スポーツ少年団とすべて会計を一緒にするのは無理である。
- 部活動とジュニアクラブ、スポーツ少年団と活動場所を一緒にすることも無理である。
- 部活動の地域移行事業のモデル地域となっている3市町の指導者への謝金はどうなっているのか。
- 事：各指導者への謝金は一律で支払われている。これは国の補助金を活用している。先般の会議でも教員に支払われている部活動手当分を町へ流してほしいと国へ要望した。
- 南学園で活動するために必要となる備品がきちんと整備されるのか心配である。とりあえず、最初は部活動でも体育備品を使用して、徐々に不足するがあれば整備すればよい。

- 各団体の指導者は一貫した指導をしていくことの必要性を分かってくれているのか。それぞれの段階でルールや道具が違うのは当然であるが、指導内容は一貫してほしい。
- これからは、自分はスポーツ少年団の指導者であって、部活動やジュニアクラブの指導者ではないという気持ちではなく、その種目全体の指導者であるという自覚を持ってほしい。
- そのためにはスポーツ少年団の指導者も社会人コーチとして町から委嘱すればよい。
- 各団体の指導者数を把握したほうがよい。各団体の規約等も変更し、北方学園クラブの指導者やスタッフとして認定すべきである。
- 指導者として認定されたくない方もいる。
- 北方学園クラブという1つの組織にするのは、指導の一貫性を実施することと、子どもたちの健全育成のためであるので、そういった理解のもと指導にあたってほしいこと、また、きちんと理解された指導者が指導に当たる必要があるという意味で、研修等も実施していく必要があると思う。

部会長：本日の協議は以上とする。次回は令和4年1月14日(金)18時30分からとする。  
(20:30 終了)